

長岡市街化調整区域の今後の展望について

小野 芳久 議員（自民）

町長 将来的には検討したい



都道44号線(岩蔵街道)

したい。下水道計画では、現在認可区域外だが、23年度以降の事業計画策定の中で優先順位を検討したい。

町長 この地域は、町農業ビジョンにおいて保全することとしており、そのようなことは無い。

問③ 長岡長谷部地区の新たな道路計画は、町長 現在、具体的な計画はないが、将来的には周辺幹線道路網と整合した新しい計画について検討する必要がある。

質問 長岡地区整備統合事業に伴い、本年1月に長岡地域施設協議会が設置された。この事業が、長岡地区発展の起爆剤になる事を住民は願っている。しかし、西平・長谷部地区に於いては、インフラ整備の遅れがあり地域格差は否めない。そこで3点について町長に問う。

問① 都道44号線(岩蔵街道) 拡幅予定と下水道計画は、
町長 駅東口整備や福3・5・17号線立体化などの目途が立った段階で交通量調査を実施

指定管理者制度導入後の成果と課題を問う

原 成兆 議員（自民）

町長 経費の削減効果は現れている



質問 民間のノウハウを活用し、新たな管理運営と財政負担の縮減を目指した指定管理者制度を導入したが、その後の成果と課題を問う。

問① 制度導入後の各施設の新たな取り組みと利用者への反応は、町長 「寿楽」については、停留所の増設など、また「駅前駐輪場」については、駐車方式を変更するなど、いずれも利便性を向上させ利用者増加につなげている。

問② 施設の管理経費の削減は、町長 削減効果は表れている。

問③ 指定団体に対する評価と対応は、町長 町独自の指定管理者評価システムを開発し、試行段階である。

問④ 検証結果の情報公開は、町長 時期を見定めて公表したい。

問⑤ 今後の導入予定の施設は、町長 20年度に石畑保育園と耕心館を予定。その他は引き続き検討していく。



指定管理者制度が導入されている駅前駐輪場

肺炎球菌ワクチンの公費助成を

青山 晋 議員（公明）

町長 現段階では時期早尚



質問 かつて死亡原因の第1位だった肺炎は、戦後、抗生物質の登場で死者数が急激に低下し、一時第4位になったが、1980年以降再び増加傾向にある。

特に高齢者の肺炎が増しているのが特徴となっている。高齢者は肺炎を起こしやすく、かかると重症となるため、死因の上位を占めている。今、肺炎球菌ワクチンの予防接種の有効性が見直されている。

町長 町では、高齢者の肺炎予防策の一環として、高齢者インフルエンザ予防接種の公費助成制度を実施している。肺炎球菌も肺炎を引き起こす原因のひとつではあるが、このワクチンはその他の細菌・ウイルスには予防効果が無い。また、免疫持続期間も5年程度であり、国内では再接種が認められていないため、生涯一度の接種時期の選定が難しい。したがって、現段階での公費助成は時期早尚と考えている。

社会に貢献する企業の誘致策を

森 巨 議員（自民）

町長 20年度検討の場を設けたい



町内の企業で職場体験をする中学生（瑞中）

質問 町の将来を鑑みた場合、代替エネルギーやバイオ技術などの研究、高い技術の伝承、障害者の雇用など、社会に貢献しようとする企業を主体的に誘致、育成することが求められるのではないかと考える。そこで、次の3点を町長に問う。

問① 町に進出を希望している企業数および業種は、町長 計画中の栗原区画整理地内に、スーパー、家電販売業者から進出

問② 企業誘致策について町側の見解は、町長 企業誘致については、部制実施を契機に検討の場を設けたい。

こんな質問もありました

行政機関の防災対策は万全か。

町長 大規模災害を想定し、会計処理やデータの保管なども含め訓練をしていく。



町保健師による高齢者訪問型介護予防事業

我が町でも、高齢者を対象に公費助成をすべきと考えるが町長の所見